



ビニールハウスの燃料タンク残量監視システム

多彩な標準システムを“そのまま”活用することで、導入コストやリードタイムを削減。

温度管理を必要とするビニールハウスでは従来、最低でも1日1回燃料の残量を目視で確認し、残量が少ない場合は、電話等でJAに燃料の配送を依頼する必要がありました。しかしこの方法では、燃料確認を忘れてしまった場合、燃料不足でビニールハウスの適切な温度を維持ができず、農作物の生育に影響が出てしまうリスクがありました。また、JAでは、いつでも燃料切れが発生するかの予測ができないため、配送ルートを事前に定めることができず、補給体制が非効率であることも問題でした。

非効率な燃料管理・配送を、IoT技術で解決したい

● 目的

各農家は1日1回燃料の残量を目視で確認しJA西都様に燃料補給を頼んでいた。JA西都様側で燃料残量を把握して一元管理し、効率的に燃料補給を行いたい。

● 導入ソリューション

- MMCloud
- MMLink-LTM

● 導入効果

- タンクの状態が見える化でき、アラート通知も行うため、定期的なタンクの目視確認が不要。
- JA西都様側で各タンクの残量を把握できるため、配送ルートを計画できるようになり、効率的な人員配置を実現。
- 正確な需要予測により、適正価格で適切な量の燃料購入ができる。

ユーザ・プロフィール

西都農業協同組合

宮崎県西都市農業協同組合



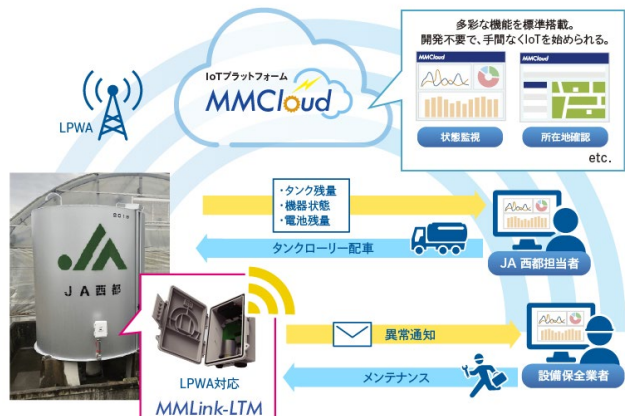
※2020年9月時点

みんなの仕事をもっとハッピーに。



ビジネス現場で起こる悩み、IoT・AIが解決！

ソリューションイメージ



※ 本件は (株) ワイエスシー様との協業により導入を実現致しました。

※記載されている会社名、製品名等は各社の商標、登録商標です。

営業拠点：本社（福岡県北九州市）、三田オフィス（東京都）、新大阪オフィス（大阪府）